



みどり 水土里を めぐる vol.3

東濃
エリア

岐阜県には、飛騨山脈などの山岳地帯から濃尾平野などの低平地域まで変化に富んだ地形が広がっており、さまざまな農業が営まれています。この中には、めぐまれない営農条件であっても工夫を凝らし、今日の農業・農村の姿を築いてきた古い歴史が刻まれているものがあります。また、懐かしい「日本の原風景」である棚田地域もあり、美しい風景が見られるとともに、祖先の叡智を守り伝えていきます。

岐阜県では、こうした農業・農村の魅力を知っていただき、美しい姿のまま将来へつないでいくために「ぎふ水土里プロジェクト」を展開しています。「水土里」の「水」は清い流れの農業用水、「土」は緑豊かな農地、「里」は豊かな自然や農村風景を表現しており、岐阜県の豊かな自然と農業・農村を守り伝えていくという想いが込められています。

このプロジェクトの一つとして、建設から50年程度を経過した歴史ある土地改良施設や現在も地域振興のために活用されている施設をまとめたガイドブックを作成しました。

ガイドブックを片手に、魅力あふれるぎふの「水土里」をめぐるみましょう！

お問い合わせ

東濃農林事務所 多治見市上野町5-68-1 0572-23-1111(内線285)
恵那農林事務所 恵那市長島町正家後田1067-71 0573-26-1111(内線293)



発行元

岐阜県農政部農村振興課
岐阜市葦田南2-1-1 058-272-1111(内線4176、4177)

2023.3

清流の国ぎふ



ぎふ歴史的土壌改良施設ガイドブック

みどり 水土里を めぐる vol.3

東濃
エリア



水土里をめぐる



東濃圏域 エリアマップ

2 定林寺防災ダム



所在：土岐市泉町定林寺
 築造：昭和39年（1964年）
 管理者：土岐川防災ダム一部事務組合
 土岐川支流定林寺川流域の農地の洪水被害防止を目的とする防災ダムです。秋には鮮やかな紅葉に染まります。

4 鱒淵用水（付知用水）



所在：中津川市付知町
 築造：文政13年（1830年）
 管理者：中津川市
 庄屋の田口忠左衛門慶郷が、付知川の水を取水するため、山間峡谷、断崖絶壁の難所に水路を完成させました。

6 坂折棚田

日本の棚田百選
 ぎふの棚田21選



所在：恵那市中野方町坂折 築造：江戸時代
 管理者：NPO法人恵那市坂折棚田保存会
 「日本の棚田百選」。戦国期の土木集団「黒織」が築いた石積が現存する美しい棚田風景が広がっています。年間を通じ様々な催し物があり、地域を挙げて棚田を守り続けています。

1 上原1号池



所在：多治見市笠原町上原
 築造：1920年代ころ 管理者：多治見市
 農業用水の貴重な水源として、現在も利用されています。四季折々の風景が楽しめる憩いの場としても親しまれています。

3 三郷・山本用水



所在：恵那市長島町正家
 築造：江戸時代中期
 管理者：恵那市
 約250年前に作られました。三郷用水は阿木川左岸から、山本用水は右岸から取水し、清流を運び続けています。

5 中肥田用水



所在：土岐市肥田町上肥田
 築造：不明
 管理者：中津川市
 村人が岩村領主と交渉し、対岸の上肥田地内に取水堰を作り、ため池も築造したと伝えられています。

7 牧戸棚田

ぎふの棚田21選



所在：中津川市加子母字番田牧戸
 築造：不明 管理者：中津川市
 牧戸棚田保存会
 平家の落人が田畑を開拓したと言われ、それにまつわる昔話が伝えられています。のどかな山里に美しい棚田風景が広がっています。



多治見市 -Tajimi-

<https://www.city.tajimi.lg.jp/>



古くから陶磁器やタイルなど美濃焼の産地として発展し、歴史ある窯元や古い町並みが趣を感じられます。陶器に関係したお祭りも多く催されています。

瑞浪市 -Mizunami-

<https://www.city.mizunami.lg.jp/>



中山道の宿場や一里塚、信長ゆかりの城跡や由緒ある寺院が残り、巨岩の鬼岩や七滝が連なる竜吟峡など自然資源も豊富です。化石の街、陶器の街としても知られています。

土岐市 -Toki-

<https://www.city.toki.lg.jp/>



焼き物の産地として、1400年以上の歴史を有する美濃焼の街。中肥田用水や定林寺防災ダムなど水に関わる農業資源も多く点在し、ペトログラフ巨石群も見ごたえがあります。

中津川市 -Nakatsugawa-

<https://www.city.nakatsugawa.lg.jp/>



中山道の馬籠宿は観光地として知られていますが、東濃松を代表とする農林業地域でもあります。トマト、茄子、西方いも、あじめこしょう、粟など多くの特産品があります。

恵那市 -Ena-

<https://www.city.ena.lg.jp/>



日本棚田百選の坂折棚田がある棚田群や天然岩のボルダリングなど自然環境を活かしたスポット、岩城跡や明智光秀ゆかりの地など歴史的にも話題性が高いです。

8 大円寺棚田

ぎふの棚田21選



所在：恵那市岩村町富田
 築造：不明 管理者：個人
 美しい田園風景は、平成元年に国土問題研究会から「農村景観日本一」の称号を受けました。冬には棚田から霊峰御嶽山の絶景も楽しめます。

9 栃久保棚田

ぎふの棚田21選



所在：恵那市笠置町河合栃久保
 築造：江戸時代中期～昭和初期
 管理者：恵那市栃久保棚田保存会
 昔ながらの石積みが残る小さな集落で、石垣と一体で造られた階段は珍しく、先人の高い技術力を感じる事ができる棚田です。

10 佐々良木東棚田・佐々良木西棚田

ぎふの棚田21選



所在：恵那市三郷町佐々良木深瀬、佐々良木西
 築造：不明 管理者：佐々良木東棚田保全組合、個人
 東棚田は、山林を開拓したため高い畦畔の水田が並び、西棚田は、斜面に大規模な水田が広がっています。住民の手で保存されている茅葺きの家には古き時代が偲べれます。

11 野井東棚田

ぎふの棚田21選



所在：恵那市三郷町野井
 築造：不明 管理者：個人
 野井中の地名は野井城に由来しています。年貢を積んできた馬を降りて歩いたことから「馬止場」の名が残っています。野井東棚田には、当地域には数少ない石積みが残っています。



知恵と工夫と労力で造り上げた歴史的分水技術を今に繋ぐ。

付知川右岸用水（円筒分水）

つけちがわうがんようすい えんとうぶんすい

所在地:中津川市駒場 築造:昭和54年(1979年) 管理者:中津川市西部土地改良区

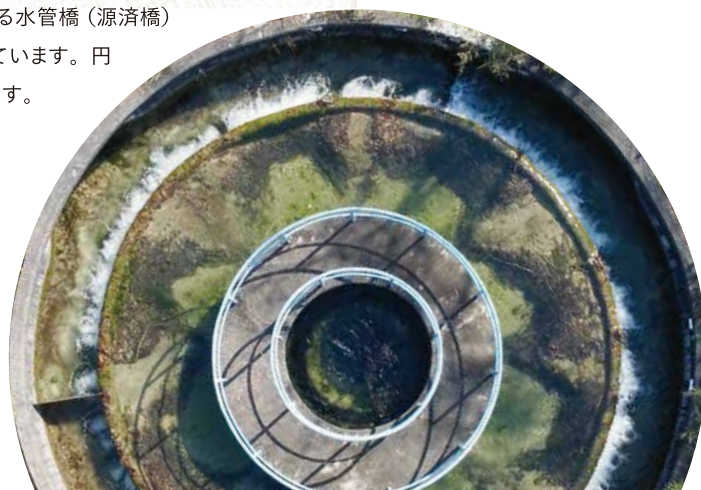
円筒分水工は一つの用水路を複数の用水路に分ける岐点にあり、各用水路に一定の比率で水を流す構造物です。岐阜県出身の農業土木技術者「可知貫一氏」により考案されたといわれています。水利に恵まれない中津川市西部一帯（通称西山台地）に、昭和40年度（1965年度）、農家の経営規模拡大などを目的とする「開拓パイロット事業」の県下1号事業として付知川からの導水工事が開始されました。国営付知川右岸用水の水源を共有しており、高低差が120mもある激しい起伏地を越える難工事で、サイフォン工の延長は6,990mに達しました。中でも、木曽川をひと跨ぎする水管橋（源済橋）は、デザインの優れた自然環境に調和していることで、観光名所にもなっています。円筒分水工は、サイフォン吐口地点に設置され、地区内3路線に分水しています。



自然に調和した水管橋を兼ねた源済橋



点在するため池は憩いの場所



付知川右岸用水（円筒分水工）について伺いました

この西山地区（中津川市西部一帯）は高台で、農業用水の確保が難しい地域だったのですが、この用水路が整備されたことで、農業用水が安定して得られるようになり、農家の経営規模拡大と農業経営の安定が図られました。水源は、はるか遠く付知川上流です。広範囲にわたり均等に分水する方法として「円筒分水」が採用されたようです。三方向に分水され下流のため池にも繋がっています。

この円筒分水工が出来てもう50年になるのですが、躯体の大掛かりな修繕などは一度も行っていません。堅牢な造りになっているのだと思いますが、底に溜まった土砂などを撤去する際は気を使います。大切な施設を壊してしまったら大変ですから。円筒分水工までの水路はほぼ地中に埋設されたパイプラインで、歩いてでもたどり着き難い山間部を通過しています。50年が経過して老朽化も進んでいますので、施設の点検や部分的な修繕は手が抜けません。「そろそろこの辺りが危ないかな?」と経験からくる勘が頼りです。



中津川市西部土地改良区
事務主任

しまさき かずと
島崎 和人さん

中津川市西部土地改良区
事務局長

こたに てつお
小谷 哲夫さん

中津川市西部土地改良区ウェブサイト

<https://seibutochikairyoku.web.fc2.com/index.html>



当時に比べると農地も少なくなり、農家の世代交代も進んで、建設当時を知る方も少なくなってきました。円筒分水工の存在を知らない方も多いのではないのでしょうか。しかし、50年前に先人達が途方もない苦勞をして導水した農業用水は、いち土地改良区だけでなく、地域農業を支える重要な社会資本なので、次の世代へ繋げていかなければならないと思っています。できる限りの努力で維持管理していきたいと思っておりますし、貴重な歴史的施設でもありますから、地域の人達にもっと知ってもらえるようPRにも取り組んでいきたいと思っております。

観光資源となっている農業用のため池

ほここ
保古の湖

大正13年(1924年)に完成した、根の上高原にある農業用人工湖。キャンプ場もあり家族連れなどで賑わっています。



はなこ
花の湖

昭和34年(1959年)に完成した農業用人工湖。自然公園が整備され、オートキャンプ場もあります。





堅牢で美しく、

自然が織りなす荘厳な景色と相まってまさに壮麗。

恵那峡大橋

えなきょうおおはし

所在地:中津川市蛭川 築 造:昭和52年(1977年) 管理者:中津川市

中津川市茄子川から蛭川をつなぐ木曾川に架かる、橋長193mの赤き逆ローゼ橋です。大正9年(1920年)に志賀重昂によって命名された「恵那峡」の上流に、昭和50年(1975年)着工、昭和52年(1977年)に完成しました。「恵那峡」は、水力発電の親と言われる福澤桃介が、大正13年(1924年)に建設した大井ダムによりせき止められてきた人造湖で、両岸には奇岩・怪石が立ち並び、春には桜をはじめツツジも美しく咲き、夏には濃緑に赤い恵那峡大橋が映え、秋にはモミジ、カエデなどが湖面を彩ります。冬にはオンドリやマガモなどが飛来し、バードウォッチングもでき四季を通じて豊かな自然を楽しむことができます。恵那峡遊覧船では、この恵那峡大橋の下をくぐることができ、その大きさとアーチ橋の美しさに圧倒されます。



橋梁の雄大さと美しさ



両岸に立ち並ぶ奇岩・怪石の数々

恵那峡大橋について伺いました



当時の岐阜県職員の技術者
くろき そうへい
黒木 壮平さん

恵那峡大橋の建設には、23～24歳ころに携わりました。当時は今の様にパソコンが無く、全てがアナログで、特に設計図面から部材を拾い上げ使用量を計算する作業全部が手作業ですから、それはもう大変でした。でも、当時はこれが当たり前でしたから疑問も持たず、ひたすら没頭していました。恵那峡大橋は、当時の農道橋としては珍しく(当時はコンクリートのスラブ橋が多かった)鉄の橋で、更に全長が200メートル近い大きな橋ということもあり、私たちの様な若い技術者には目新しいことが多く新鮮でした。橋が完成したら地域住民の役に立つんだ。農業するうえでも便利になるんだ。という想いと気概に満ち溢れていました。職員及び建設に関わった皆が、そう信じて

進んでいました。

地元の協議会が発足したと記憶していますが、地元の方々と話し、橋の形状や塗装色など、一生懸命協議しました。そして、逆ローゼ橋という、橋げたの下側がアーチ状の形状で、濃緑の背景に似合う赤い色に決定しました。

地域農業の振興と発展、利便性向上を事業目的としつつ、景観的にも優れた美しさにこだわったのは、設計や建設にかかわった人達の後世に残る物を造りたい、という想いが強かったのだと思います。そういえば、アーチ部分の鋼材を繋げる最後の「閉合」作業の瞬間は、県内各地から多くの職員が見学しました。“橋が繋がった!”という瞬間でした。

今振り返ると、多くの人の役に立って観光地になるくらい美しい橋ができて、それに携わっていたのだと考えると感慨深いです。



地域の見どころ

地歌舞伎



全国でも地歌舞伎が盛んな岐阜県は30を超える保存団体があり、東濃エリアには17もの保存団体が集中しています。芝居小屋をはじめ、各地で定期的に公演が催され、江戸時代から伝わる演目や振り付けが今も大切に受け継がれています。“東濃地方の地歌舞伎と芝居小屋”は平成21年度に「岐阜の宝もの」に認定されています。

東濃エリアの地歌舞伎

- ◆飯地五毛座歌舞伎保存会
- ◆美濃歌舞伎保存会
- ◆東濃歌舞伎保存会
- ◆坂下歌舞伎保存会
- ◆常盤座歌舞伎保存会
- ◆加子母歌舞伎保存会
- ◆安岐歌舞伎保存会
- ◆三郷歌舞伎保存会
- ◆恵那歌舞伎保存会
- ◆上矢作歌舞伎保存会
- ◆山岡歌舞伎保存会
- ◆串原歌舞伎保存会
- ◆明智町歌舞伎保存会
- ◆東野歌舞伎保存会
- ◆東美濃こども歌舞伎保存会
- ◆蛭川歌舞伎保存会
- ◆だち歌舞伎保存会